

5S	5S	日本語では整理、整頓、清掃、清潔、しつけであるが、これに該当する英語はSort, Set in Order, Shine, Standardize and Sustain
ABC classification	ABC分類	重点的に在庫を管理するための、在庫品の分類。この分析を行う方法をABC analysisという
ABC inventory control	ABC在庫管理	予備品などを重点的に在庫管理する手法
AC drive	エーシードライブ	電動機のエネルギー効率を高めるために、速度制御をする機器、variable-frequency driveともいう
accelerated deterioration	促進劣化、異常劣化	誤使用、放置、暴露、荷重、破壊などの要因で促進された
acceptable performance	許容性能	部品の信頼性尺度
acceptable quality limits	許容品質限界	AQLとして使用される、ISOで品質レベルが規定されている
acceptance test	受入れ試験	製品あるいは工事が仕様に基づいて作られているかを化学、機械あるいは性能検査をすること
active inventory	活動在庫	会計年度内に消費あるいは販売される原料、加工品および製品の在庫
active redundancy	常用冗長	1. 同じ性能の予備機を配置して冗長性を保つこと。2. 特定のシステムの品質やサービスの低下を防ぐため監視を行う
active time	稼働時間、実働時間	active repair timeのように、ある作業の実働時間を示す場合に使われる。修理の場合は作業準備から試運転までの
actual cycle time	実サイクルタイム	一つの製品を作るのに実際かかった時間、運転時間を実生産量位で割った数字
actual downtime hours of all operating units	全ての稼働機器の実際の停止時間	
actual expense maintenance hours	実費保全時間	保全にかかった時間に対して支払った費用
actual expense maintenance overtime hours	実費保全残業時間	
actual preventive maintenance tasks accomplished	実際予防保全実施作業	行った保全作業のうち予防保全として行った作業指示数
actual production run time of all operating units	全ての稼働機器の実際生産稼働時間	
actual production volume minus off-spec product of all operating units	全ての稼働機器の規格外製品を差し引いた実際の生産量	
actual production volume of all operating units	全ての稼働機器の実際生産量	
actual unscheduled maintenance downtime hours of all operating units	全ての稼働機器の実際の計画外保全による停止時間	
administrative delay	管理上の遅れ	保全作業による装置の停止時間の内、仕事の割り当て順位、組織上の制約あるいはストライキなど管理による作業
affinity diagram	親和図	QC7つ道具の1つ
air changes	空気移動量、換気量	
air-to-air heat exchanger	空気-空気熱交換器	
appraisal costs	評価費用	顧客の要求あるいは法規制に対応するため、製品あるいはサービスの品質を維持するために要する費用で、品質検査などに要する装置の取得および維持あるいは人件費などの費用も含まれる
approved equal material	承認済み同等材料	顧客から同等と承認された材料で、契約書で使われる。材料以外にequipment, construction method(同等機器、同等建設方法)などがある。
area maintenance	地域保全	プラント内の特定の場所の保全を、特定の場所に置かれた保全工場あるいはチームが行う。一般的には、これらの地域保全を横断的に保全計画をするチームがある。common area maintenanceという言葉は、公園や駐車場など共通の場所の保全を行うことで、プラント・エンジニアリングの範疇外のことが多い。

arrow diagram	矢線図	CPM (critical path method) chartあるいはPERT (program evaluation and review technique) chartの別名という説明が多い。KJ法の相関図に該当するという説明もある。
as-built drawings	完成後改定図	プロジェクトのような仕事が完成した後に、請負業者から提出される変更図。建設工事中の仕様書あるいは工事図面の変更が反映されていて、契約に基づく配置、外形、寸法などの要素が正しく示されている。record drawingsあるいは単にas-builtsともいう。
as-found-as-left sheet	保守作業完了シート	機器の修理あるいは調節前の状態と作業終了後の状態を記録した用紙
asset utilization	資産活用	1. プラントが最大能力で365日稼働した場合の生産量に対する実際の生産量をいう。ここでは製品や品質ロスはないとする。2. 会社の全固定資産に対する年収
assignable cause	つきとめられる原因	あるプロセスあるいは測定において、変動を起こす識別できる、特別な原因。special causeともいう。
autonomous maintenance	自主保全	日本語の自主保全を英訳した言葉。Jisyuhozenの方が多く使われているようだ。
autonomous work group	自主作業グループ	組織内で特別なプロジェクトあるいは作業において意思決定などを自主的に行えるグループ、このグループに対して管理部門はグループの成果に責任をもつ
backlog	バックログ	1. 未処理の仕事あるいは未加工の材料の集積 2. 将来使用するために保管あるいは隠した供給品
baseline measures	基準測定値	機器、プロセスあるいは製品などの機能を、入力による変化の起こる前に正確に測定した値。改善などの効果測定や機器の劣化程度の測定の基準として使われる
benchmark measures	ベンチマーク測定値	特定の活動、製品あるいは地域の性能改善のための目標を定める一連の基準値あるいは標準
benefit/cost ratio	費用便益比率	1. プロジェクトの投資と利益の関係を同定するための比率 2. 投資に対する報酬に、投資の寿命を掛けた数値 3. 割引き増加利益に対する割引増加費用の比
best practices	ベストプラクティス、最善方法	1. 研究や経験によって所期の結果を達成できる技術あるいは手法 2. 会社あるいは業界の内外で、仕事を達成するための最善の方法、プロセスあるいは取組
bill of material	材料表	装置の場合は部品表、工事の場合は材料表
breakdown maintenance rate	事後保全比率	全ての保全作業に対する事後保全の比率
break-even analysis	損益分岐点解析	break-even point analysisともいう
break-in job	割込み作業	スケジュールを変更して行う作業、例えば突発故障のために行う作業
break-in schedule	ならし運転スケジュール	機器を設置あるいは修理した後の、機器あるいは部品に必要なならし時間
Buddy rule	2人1組の作業規則	安全作業を確保するため、2人1組で作業をしなければならない規則。Buddy systemは2人1組で仕事をする仕組み
burn-in	バーイン、機能試験	1. 機能を安定させるためにストレスをかける作業 2. システムや部品を時間をかけて稼働させ問題を発見するための試験、製品出荷前あるいは修理した機器を操業に戻す前に
calendar time	暦時間	カレンダーによる時間数
capital maintenance	資本維持	1. プラント資産の取得や増設費 2. 会計上の概念で、利益は会社の資本が当初あるいは予め定めたレベルを維持することによってのみ得られる
catastrophic failure	破局的故障	システム、装置、機器あるいは部品の全機能損失を伴う故障
causal factors	決定的要因	現象を起こすことを理論的に証明した、結果に影響する全ての要因
cause-and-effect diagram	特性要因図	fishbone diagramともいう
central maintenance dispatch	集中保全迅速処理	保全の中央管理グループが作業の選定および順序を決め、地域保全の工場あるいはチームに作業を割り当てる
changeover time	切換え時間	機器あるいは製品の切換えに要する時間あるいは製品を切り替えるためにシステム、プロセス、機器を準備する時間
checkout	点検、チェックアウト	状態確認のための試験あるいは観察

checkout time	点検時間	保全作業の中で点検に要した時間
common cause	共通原因	natural patternsともいう、システム中に通常存在する量的
common mode failure	共通モード故障	全ての冗長要素に同時にそして時系列的にシステム故障を引き起す故障
company culture	企業風土	会社内に存在するビジョン、システム、価値観、信条、習慣あるいは行動
component	部品	交換部品あるいは組立部品、要素など
computerized maintenance management system(CMMS)	コンピュータによる保全管理システム	保全対象機器リスト、保全計画、保全作業、保全履歴、予備品管理および保全費管理などを行うコンピュータのハードおよびソフトシステム。全社の総合的なコンピュータ管理システムの一部門として、組み込まれるようになってきている
concurrent engineering	コンカレントエンジニアリング	顧客の要求を満足させ、低原価、高品質および迅速な納期を達成するために開発、設計段階から生産システムに関わる技術者が生産システムを作るプロセスあるいは技法。simultaneous engineeringともいう。
condition monitoring maintenance	状態監視による保全	通常の運転中、オペレータが機器を監視していて、機器の不具合を発見したら修理依頼をするという形の保全、しかし下記のcondition-based maintenanceあるいはcondition monitoring-based maintenanceと同じ意味でも使われている
condition-based maintenance	状態監視保全	設備の診断技術、目視あるいは運転データなどによって設備の状態を監視し、劣化や故障が発見された場合には状態に応じて保全の時期を決める
configuration audit	コンフィギュレーション監査	configuration auditにはfunctional(機能)とphysical(物理的)がある。configurationとは、システムを構成する方法あるいはシステムを構成する要素を集めたものと説明されている。configuration auditとは、システムのソフト(functional)とハード(physical)がシステムの目的に合致しているか監査することを意味する。
conformance testing	性能試験	1. 製品が基準あるいは仕様に合致しているかを確認する検査 2. compliance testingともいう、製品やプロセスあるいはコンピュータのプログラムが基準に合致しているか確認する
consigned stock	委託在庫品	予備品などが顧客あるいはディーラーの倉庫に保管されているが、その所有はメーカーにあるという在庫品。consigned inventory control 委託在庫方式という用語もある
constant-volume heat system	定量加温システム	部屋ごとに一定量の加温空気を送り込み部屋の温度を調節するエアコンシステム。温度が低下した時は補助の加熱システムが働く
construction document	建設関係書類	最終計算書、施工図、仕様書、詳細見積書および承認図など
construction loads	建設負荷	1. 風力、静的荷重、動的荷重あるいは構造物などによる荷重 2. 構造物が一部完成した時期あるいは全部完成した時に加わる荷重
contained drain system	封じ込めドレンシステム	廃棄物投棄場所などから汚染水など、汚染物質が外部を汚染しないようにするためのドレンシステム
contributing cause	貢献要因	結果に影響する要因
controllable costs	管理可能費用	管理者の裁量によって予算範囲内に管理できる費用、プラント関係では品質あるいは信頼性確保に関わる作業の予算などが該当する
controlled variable	制御量、制御変数	1. 計装システムで制御あるいは測定される数量あるいは状態 2. 制御対象に属する値のうちで、それを制御することが目的となっている量
convection section	対流部	ボイラあるいは加熱炉の対流部
corrective action	修正作業	故障原因あるいは設計不備などを修正するために行われた種々の作業あるいはそれを文書化したもの

corrective maintenance	事後保全, 改良保全	1. 元々欧米で使われていた意味は、故障した機器を復元するあるいは修正する保全で、いわゆる事後保全である 2. 日本ではTPMの中で、機器の故障の再発を防ぐためには、機器の弱点を改良する必要があるという考えから、修理するだけでなく改良を加えることに重点を置いたことから、改良保全という言葉が生まれ、その英訳がcorrective maintenanceとなった。TPM活動を取り入れている外国では、改良保全の意味が通用する
corrective repair and overhaul	修正修理およびオーバーホール	当初の設計あるいは運転仕様から外れた機器を、当初の仕様に戻すための修理あるいはオーバーホール
cost driver	費用発生要因、費用発生源	設備の場合は、運転時間に伴うエネルギー費、保全費あるいは人件費などがある
coverage	有効範囲	全作業時間に対する実際の計画作業時間
cross-crafting	交差技能教育	技能者を異なった技能分野で教育したり資格を取らせたりすること
cross-training	交差教育	異なった立場にたたせ、あるいは異なった仕事をさせて教育すること
cycle counting	サイクル数量検査	在庫品の調査を年一回するのではなく、毎日あるいは短い間隔で数日かけて行う在庫調査
cycle stock	サイクル在庫	回数の多い少量の需要に対して、多めの在庫をしておいて対応する方法、lot size stockとかworking stockともいう
damaged or missing insulation	損傷あるいはなくなった断熱材	
data acquisition rate	データ取得速度	多くの場合コンピュータにおける取得速度をいう
dependent failure	従属故障	一つの部品あるいはサブシステムの故障が、他の部品やシステムを故障させること、例えば部品の発熱が近くの部品の故障につながる
depot maintenance	デポ保全	1.顧客の大きな保全作業場あるいはメーカーの作業場でメーカーが行う保全作業 2. オーバーホール、部品あるいはサブシステムの再生に必要な材料の維持
derating	負荷軽減	定格値より低い負荷で部品や機器を運転し、より長い寿命あるいは信頼性をより高めることを目指す方法
derating factor	負荷軽減要素	1.最大許容ストレス値を定格ストレス値でわったもの 2. 電力ケーブルは設置環境、例えば地中、金属トレーに敷設することで運転温度が上昇する場合はケーブルの定格を下げる必要がある。配管用の高張力、低合金鋼管の使用温度による降伏強度の低下に対する、負荷低減の必要性がある
design for manufacturing	製造性を考慮した設計技術	製品を容易にかつ経済的に製造する技術、部品や製品あるいはプロセスを簡素化して品質や信頼性を高める
design for reliability	信頼性を高める設計技術	
design multiplicity	設計の多数性	1.製品の簡素化を表す、設計における部品数 2.製品や機器の簡素化を表す
destructive physical analysis	破壊的故障物理解析	大量生産品など、一つのサンプルを破壊しても費用的に問題ないような品物に、ストレスを加えて破壊し、どのような故障を起こすかを構造、プロセス面で解析あるいは材質分析
direct work	直接作業	システムや機器を修理したり、部品を交換するような現場で、現物を保全する作業をいう。保全計画、スケジュール作業、人員割当あるいは予算管理のような仕事は除く
downing event	停止事故	修復可能なシステムの停止を起こす出来事あるいは故障
Duane plot	デュエーン・プロット	長期間にわたりシステムの累積事故比率を表上にプロットしたもので、システムが安定しているか、あるいは向上または劣化しているかを評価するために使われる予知モデル。デュエーン氏が開発した
durability	耐久性	1. 寿命の尺度 2.長時間使用に対する耐性
dynamic monitoring	動的監視	負荷が動的に変化する際に、システムに発生する振動、ひずみ、パルスなどを測定し潜在的なシステムの故障を検出する技術
electrical monitoring	電氣的監視	抵抗、電導度あるいは電圧の変化を検出して監視する技術

empowerment	権限移譲	従業員が予め承認を得ることなく、自分たちの職場で決定できる権限
enforced problem solving	強制問題解決	図面や設計の一部を技術者による改訂。顧客、製造部、品質管理あるいは他の部署による変更の要求などをいう
enterprise asset management	企業資産管理	企業資産のライフサイクル管理で、機器、施設およびプラントの設計、建設、試運転、運転、保全などを対象にする、一般にequipmentとassetの違いはassetには建物などが含まれ管理対象が広い
environmental stress screening	環境ストレス選別	製品開発あるいは修理品、部品の検査プロセスの一つで、振動や熱あるいは力を周期的に加えて、潜在的な結果を促進させあるいは検出するプロセス
external failure costs	外部故障要因費用	予備品の在庫費用、分析費用あるいは出荷後の製品に対する顧客のクレームに対する費用
facilities	装置	生産、補修、研究開発、試験用などの工業装置
fail-safe design	フェイルセーフ設計	1.システムにおいて故障あるいは誤操作によって障害が発生した場合、常に安全側に作動しシステムの安全を保つ設計 2.故障しにくい設計 3. 予備のシステムを備えていて、主システムが故障してもシステム全体の稼働を続けられる
fail-safe device	フェイルセーフ機器	フェイルセーフ設計で製作された機器
failure mode and effect analysis	FMEA、故障モード影響解析	システムや機器の潜在的な故障を解析し、稼働中にそれらが故障したら生産、品質、安全あるいは環境にどのような影響を与えるか評価し適切な対策を行うための手法。設計の段階や保全計画を作成する際などに行う。具体的な作業の展開の場においては、種々の方法が考案されている。
fault isolation	故障隔離	1. 機器の故障が他の機器に影響を及ぼさないようにする設計方法、機器間に障壁を設ける 2. 故障の原因および場所を見つけること、fault detectionあるいはfault diagnosisと同じ意味で使われる
fault isolation time	故障隔離時間	故障隔離に要する時間
fault localization	故障点評定	故障した場所を同定する方法、ソフトウェアのバグを見つけるための手法が開発されている：fault-localization
first in, first out	先入れ先出し	棚卸資産の評価方法のひとつ、あるいは在庫品を出すときに早く納入された品物から出すという方法
fishbone diagram	特性要因図	魚の骨図ともいう
five why`s	なぜなぜ分析	"why-why" analysisともいう
flexible workforce	フレキシブルな作業集団	会社内で種々の異なった仕事ができるように教育された集団
floating roof submersion or damage	タンクの浮屋根の沈没あるいは損傷	浮き屋根式タンクの屋根故障の一つの表現
focus group	フォーカスグループ	ある一定期間特別な問題解決のために編成されたグループ
force field analysis	障害区域解析	複雑な問題の中にある要因を解析するための手法あるいは、問題の解決を妨げる、あるいは逆に助けとなるプレッシャーを見つけることで意思決定をする技法
form-fit-function	形状一適合一機能	部品や装具などの物理的、機能的あるいは性能特性、仕様およびシステム中の互換性を明らかにする場合に使われる用語。部品や製品が顧客の要求に合致しているかを設計段階で示す。
front-line maintenance worker	第一線の保全作業員	第一線という言葉はいろいろな場面で使われる
functional failure	機能故障	設備仕様あるいは標準で決まった機能が不能になった状態
functional failure analysis	機能故障解析	FFAともいう、FMEAに類似
functional failure modes effects analysis	機能故障モード影響解析	FFMEAともいう、FMEAに類似、このような類の解析法の名前は他にもある。例えばfunctional path failure analysis, risk discovery analysis, functional hazard analysisなどで、新しい名前を付けて商品にしていると思われる
gang box	工具箱	gangの意味は同一の作業に従事している作業員のこと、これらの作業員が共同で使う工具を入れておく箱のこと。電気工事の場合は電気部品を入れる箱

gauge repeatability and reproducibility	ゲージの繰り返し精度と再現精度	測定結果の精度を評価すること。繰り返し精度とは一人が数回測定した結果を、そして再現精度とは数人が数回測定した結果を確認する。repeatabilityおよびreproducibilityを参照
heavy loading	重荷重作業	重量物吊り上げなどの作業
hidden function	隠れ機能	正常な状態では運転員には、故障が分からない機能
housekeeping	5S	1. 作業現場、製造プロセスにおいて、汚染や間違いを防ぐために、整然とした環境を作り維持する活動 2. 全てのシステムの日常管理 3. 整理、整頓、清掃、清潔活動
ideal cycle time	理想サイクルタイム	一つの製品を作るのにかかる理論的な最小時間
ideal run rate	理想稼働速度	理論的な最大生産速度、ideal cycle timeの逆数
improved cost control	材料管理の改善	
improved maintenance history	保全履歴の改善	
improved maintenance planning	保全計画の向上	
improved maintenance schedules	保全スケジュールの改善	
improved maintenance scheduling	保全スケジュール作業の改善	
improved spare parts control	予備品管理の向上	
improvements in equipment availability	機器の有用性向上	
improvements in equipment reliability	機器の信頼性向上	
inactive inventory	休眠在庫	1. ある期間、販売あるいは使用されないで倉庫に眠っている在庫品 2. 将来の生産に向けて在庫している品物
inactive time	無活動時間	active time の反対
incremental cost	増分費用	製品の加工あるいは組立段階で追加される費用
independent failure	独立故障	システム要素が故障しても他のシステムに影響しない故障、あるいは他のシステム要素に関係なく起きる故障
infant mortality	初期故障	1. 仕様に合致しない、あるいは未軸な技能によって作られた製品の故障 2. 初期段階の故障
infrequently used parts.	使用頻度の少なかった部品	
inherent reliability	固有信頼性	1. 理想的な運転あるいは環境を維持するためのシステムや機器の全体的な頑強性の尺度 2. アイテムや機器の保全性および信頼性の尺度、理想的な運転条件下あるいは現状の運転に基づいて評価
insanity	愚行	同じことを何回も繰り返すが結果はまちまちなこと
instruction & maintenance manual	取扱説明書および保全マニュアル	instructionとmanual あるいはguide は同じ用語あるいは意味が重なっているという説明がある。日本語のマニュアルおよび取扱説明書という用語も同じ意味で使われることがある。実際に使われている資料には機器の構造、据付、運転および保守などが書かれている
internal failure cost	内部欠陥費用	出荷前の製品に品質不良が見つかり回収あるいは手直しのための費用、収率低下による損失、製造設備の故障による費用、再設計費用など
interrelationship diagram	相関図	重要な問題の原因と結果の関係を明らかにする解析手法、relations diagramともいう
inventory carrying costs	在庫品所有費用	在庫品の資産価値に対する在庫費用で表す、在庫費用には労務費、減価償却費、保険などが含まれる
item	アイテム	①機器の部品で、はっきり部品と分かるもの、②システム、材料、部品、アクセサリなど製品を表す不特定の用語
j-box	ジャンクションボックス	電気用語で接続箱
job walk	作業現場歩き	請負業者や入札者に作業現場を知ってもらうために現場を歩くこと
k-cost	ケーコスト	修理作業員あたりの年間保全費
kitting process	キット方式、一式方	計画保全などのために修理部品などを一式まとめておくこと
labor performance	労働実績	標準作業時間を計画作業の実労働時間でわったもの
leak repair clamp	漏れ修理クランプ	配管の漏れを二つに割れたスリーブではさみ込むのが一つの例

life unit	寿命単位	製品や機器の寿命を単位時間で表した尺度あるいは運転時間、運転サイクルなど機器の使用持続時間
life-limited item	寿命制限アイテム	寿命が予測できる、あるいは限られているアイテムで、信頼性、安全あるいは経済的理由で予め定めた期間で交換するもの
line replaceable units	ライン交換可能なユニット	複雑なシステムの交換部品で、現場で最小の道具で迅速に交換しシステムを稼働状態に戻せる部品
load factor	負荷率	最大能力に対する平均負荷の比で機械やプラントの負荷の程度を表す
loading capacity	許容荷重	法の基準によって決まっている安全な作業荷重
loading time	負荷時間	ある規定時間内の機器の有効稼働時間、有効運転時間から計画停止時間を差し引いた時間
logistics support	ロジスティック支援	システムの運転あるいは保全に必要なサービスおよび材料で、購買、保管、請負作業など技術的な支援も含まれる
maintainability apportionment	保全性分担	システムを構成するサブシステムの保全性目標を達成するための割当作業
maintainability demonstration	保全性実演	メーカーと顧客が現場で契約上の保全性が確保されているかどうか、現場テストで確認すること
maintainability design criteria	保全性設計基準	一般的にはreliability design criteriaと一緒に必要とされる、保全性に影響する設計基準のことで、顧客からメーカーや請負業者に設計基準の詳細を要求される
maintainability performance	保全性パラメータ	機器あるいはシステムの保守の成果に影響する要素あるいは機能で幅広く環境や設計に関する要素から、狭義のMTBF,MTRあるいは保全計画、保全周期など保全に関する要素をいう
maintainability prediction	保全性予測	システムあるいは機器が保守のためある時間停止する、あるいはシステムが稼働できないということは問題であるため、予め保全性を予測して保全性の良い設計、あるいは改良などを行う。このためには仕様書、設計基準、モデル、パイロット・モデル、保全に関する環境あるいは類似のシステムなどを参考にして解析する
maintainability requirement	保全性要求事項	保全性に関する要求事項を質および量的に記述したもの
maintenance action rate	保全作業比率	平均保全作業間隔(mean time between maintenance action)の逆数をいう
maintenance concept	保全概念	機器、システムあるいはプラントに対して行う保全あるいは支援に対する概念あるいは方針で、保全計画、組織、人員計画、保全の方法および保全のレベルなどが含まれる
maintenance level	保全レベル	保全のレベルを三分野に分けて規定する、1. 組織上のレベルは機器あるいはシステムを維持するための作業レベル、2. 保全作業場に関するレベル、3. 保全資材の保管
maintenance management	保全管理	保全業務を管理することで、そのソフトはmaintenance management softwareという
maintenance micro indicator	保全マイクロ指標	保全活動の成果を測る小さな指標、例えば計画作業の割合、保全依頼作業の多さなど
maintenance quality assurance	保全品質保証	施設あるいは設備保全の品質を確保する活動をいう。一般的にはmaintenance quality assurance programなる計画書で必要とする保全の品質の技術仕様を規定する。保全の対象によってその内容はさまざまである
maintenance ratio	保全率	システムを構成するサブシステムの保全性目標を達成するための割当作業に必要な全保全人工の指標。一定期間の累積直接作業人工数をユニットの累計運転時間で割った比率。全ての保全作業の内、日常点検、修理および部品交換
major stoppage loss	重大停止損失	機器の停止損失にプロセス不良損失および製品損失を加えたもの
management by sample	見本による管理	従業員に期待される特性を言葉や動作で表し、それを見本として従業員を管理すること

management by walking around	現場指導管理	management by wandering aroundともいう、管理者が非計画的に現場に行き部下や従業員に話しかけ、提案や苦情などを聞いたり、あるいは指導したりすること。話す対象として顧客や業者という説明もある。1970あるいは80年代に開発された手法で、最近のようにメールでやりとりする反省として復活したともいわれる。
manufacturing check sample	製造チェック試験片	製品が設計仕様に基づいて生産されているかどうか調べるために採取する製品のサンプル
manufacturing pilot run	製造パイロット運転	新規の生産設備でフル運転する前に少量の製品を試験的に生産すること
margin test	限界試験	製品が破損あるいは故障するまで負荷をかけて試験すること、製品の品質が故障あるいは破損が起きる状態が、正常の使用範囲外であることを確認する
maximum permitted time to repair	最大修理許容時間	故障停止のような状態を避けるために行う修理に着手する迄許容できる時間、maximum allowed time to repairという用語もあるが、これは修理作業が完了するまで我慢できる時間というような意味で使われている。
maximum rated load	最大定格荷重	静的荷重と動的荷重を加えた全荷重。足場の荷重を計算する際などに使う、安全係数も加えるという説明もある
maximum time to repair	最大修理時間	修理に要する最長時間
mean maintenance time	平均保全時間	予防および修復保全時間を計画および非計画保全作業時間で割ったもの、機器の保全性を測る尺度
mean time between demands	平均需要時間	システムの物流支援に対する要求の信頼性を測る指数で、システムの全稼働時間を物流支援の全要求数で割ったもの
mean time between downing events	平均停止事故間隔	準備状態と利用可能状態に関するシステムの信頼性の尺度で、システムの全稼働時間をシステムが任務を果たせない全事故数で割ったもの
mean time between	平均保全作業間隔	設備の一つの保守作業と次の保守作業の平均間隔
mean time between maintenance actions	平均保全作業要請間隔	保全作業員の作業要請に関するシステムの信頼性の尺度でシステムの全稼働時間を予防保全など保全作業数で割ったもの
mean time to restore system	平均システム修復時間	停止故障を復元するのに掛かった時間を停止故障件数で割ったもの、システムの保全性を測る尺度。類似の尺度にmean time to recoveryというのがある。
mean time to service	平均作業時間	計画された保全工、運転員および車運転者の総作業時間を作業回数で割ったもの、システムの保全性を測る尺度
measurement locations	測定場所	locationとは別にpositionという言葉があり、測定位置と訳されている。測定場所から測定可能な位置を決めるという意味でpositionを使うという説明もある
mission profile	ミッション・プロフィール	ある使命の概要を記述したもので、あるアイテムの最初から完成までの出来事や環境を記述したもので、使命の成果基準なども含まれる
mission time	使命遂行時間	ミッション・プロフィールを行うのに必要な時間
mission time between critical failures	重大事故間の使命遂行時間	ミッションの信頼性の尺度。全使命遂行時間を重大事故数で割ったもの
mission time to restore functions	機能修復の使命遂行時間	ミッションの保全性の尺度。重大事故の修理時間を重大事故数で割ったもの
modification	改良	機能を向上させるために行う変更をいう。装置の場合は、装置を構成する要素を設計、製作あるいは据付などの変更で機能向上を行う
modification time	改良時間	機能あるいは特性向上や新しいものの追加に必要な時間
multicrafting	同時異種作業	一つの仕事に同時に複数の異業種の作業員が経費節減のため作業を迅速に行うこと。例えば修理のため配管工と電気工が同時に修理作業を行う。
multiskilling	多能工作業	二つ以上の作業ができるように教育あるいは資格をとらせ、修理作業を迅速に行えるようにする、あるいは多能工化によって人員増を抑えることを目的とする
natural deterioration	自然劣化	適切な使用と保守にもかかわらず劣化すること

noise reduction coefficient	騒音減少率	実験室で測定される遮音材の遮音特性あるいは現場環境における吸音材の吸音能力をいう
non-chargeable failure	非責任故障	予測されており、組織の責任ではないと決められていた状態で起きた故障
nonrelevant failure	非該当故障	運転によって起きた故障ではないと証明された故障あるいは設計に起因する故障と証明されたもの
old age	寿命	機器の部品交換時期あるいは部品の寿命が尽きた時点
on-condition task	運転中定期作業	機器が故障停止しないように運転中に行う定期的検査や整備作業
on-condition maintenance	状態確認整備	状態監視機器によって整備が必要と判断された時に行う整備あるいは定期整備を行うのではなく状態を監視して、まだ許容限界内で機能しているかどうかを確認する作業
on-stream time	稼働時間	装置が稼働して生産している時間
operability	運転性能	システムや機器が設計値や期待されている稼働性能を満足できる能力
operating efficiency	稼働効率	機器あるいはプラントの実生産量あるいは性能の計画あるいは基準値に対する比率
operational overloads	運転上の過負荷	
operational readiness	事業即応性	プラントの場合は稼働即応性という意味の方が好ましい、プラントの操業計画に対応する機器の対応能力をいう、建設会社などの場合は顧客の要求に対する人材、システム、技術あるいは資材などの対応能力をいう
operator driven reliability	運転員参加による信頼性向上	日本で行われている運転員の自主保全による信頼性向上活動に相当する
operator involved maintenance	運転員参加による保全作業	オペレーターと保全員が協力して行う保全作業、日本の自主保全活動と同じ
operator performed	運転員による保全作業	オペレーターが行う保全作業で、日本の自主保全活動の核
out of spec	スペック外	仕様あるいは規格外の製品
overhead receiver hopper	頭部受入れホッパー	
paradigm change	パラダイムチェンジ	組織の風土あるいは文化を根本的に変えること,paradigm shiftともいう
part standardization	部品標準化	同じような部品を標準化することで、部品や供給者の増大を防ぎコストを下げる計画。
participative design/engineering	参加型設計/エンジニアリング	製品設計/エンジニア活動において、社内の関係者が参加して行うこと。team design/engineeringあるいはconcurrent engineeringともいう。一般的には、ある活動に関して関係する人々が設計やエンジニアリングに参加すること。
particle monitoring	微粒子監視	一般的には大気汚染の監視のために微粒子を測定し監視することを意味するが、プラントでは機器から放散される微粒子を測定することで、機器の潜在的故障を見つける。
pay for knowledge	知識対価	賃金を知識に対して支払うという賃金体系で、優秀な従業員が組織に参加する前あるいは組織内で身に着けた知識に対して賃金を支払う、また現にその知識が業務に反映されていなくてもかまわない。
pay for skill	技能対価	賃金を技能に対して支払うという賃金体系
pendant pushbutton station	ペンダント押し釦操作	吊り下げ式の操作器でクレーンなどで使われる
periodic inspection and servicing	定期点検および保守作業	定期的な点検保守作業を表す英語
P-F interval	P-F間隔、警戒期間	potential-to-functional failure interval、機器に不具合が発見され、それが機能不全になるまでの間隔をいう。状態監視保全やRCMなどで議論されている。
physical monitoring	機械的監視	クラック、摩耗、割れあるいは変形などを監視する技術。環境分野では別の意味で使われている。
piping and component support displacement or damage	配管と部品支持の移動あるいは損傷	配管や部品を支持する金具が変形したり損傷することを意味する英語
piping circuit	配管路、機器間連結配管	塔槽類からポンプなどの機器間の配管を指定する場合などに使われる
piping connections distortion or damage	配管接続部のゆがみと損傷	配管接続部のゆがみと損傷を英語で表現した

planned downtime	計画停止	生産設備の計画停止、計画的保守作業、会議、教育、休憩など管理業務による停止が含まれる
positive material identification	PMI検査、積極的材料検査	金属組成を非破壊的に検査する方法、蛍光X線や発光分光分析法などが使われる
potential failure	潜在故障	故障が検出される状態、故障が起きそうな状態、性能や状態の劣化が検出できる状態をいう
pre-engineering	先行エンジニアリング	企業可能性調査および基本設計など投資予算をまとめる前の技術調査および設計作業。同じような意味でfront-end engineeringという言葉もある、この類の用語は定義がいろいろある。
proactive maintenance	先手保全、プロアクティブメンテナンス	この類の用語には様々な定義がある。故障を防止するための種々の保全活動を組み合わせで、従来のpreventive maintenance, predictive maintenanceを含むという定義や、故障の要因が分かっている場合、例えば潤滑油の汚染が回転機械の軸受けの故障原因であることから、汚染防止対策を予め行う保全活動などをいうこともある
process failure losses	プロセス故障損失	プロセス上の要因、例えばプロセス不調、ミスオペあるいは原料不足など、設備によらない原因で設備が停止することで起きる損失
production adjustment loss	生産調整損失	予定されていない製品の切換えなどで必要とする調整による損失
production reliability acceptance test	生産信頼性受入れ試験	生産の信頼性あるいは製品の寿命を保証する試験で、種々の試験が提案されている
project manual	プロジェクト マニュアル	プロジェクトの入札および契約に関する書類、図面は除くが仕様書や帳票類、見積もり条件などは含まれる
protective device	保護装置	1. 運転員に異常を知らせる装置、例えば警報装置 2. 故障の時に緊急停止させる装置 3. 故障時に災害を拡大させない装置、例えば安全弁 4. 冗長化装置 5. ベルトガードのような保護装置
punch list	残工事リスト	工事業者が建設工事の残工事をリストしたもの、あるいは顧客の要求項目で残っている工事リスト
pup piece	短管	配管を接続するための100ミリ程度の短い管
qualification plan	資格認定計画	特定の装置の運転あるいは保守に携わる人の資格要件および教育計画などを定めたもの
quality detect loss	品質検出損失	不良品を生産あるいは処分するのに要した時間損失
quality function deployment	品質機能展開	QC7つ道具の1つ
rail yards	車両基地	自動車車両作業場で車両の組替え、荷下ろし、荷積みなどを行う場所
random failure	偶発故障	故障や欠陥の発生が統計的あるいは確率的にしか予知できない故障
rated capacity	定格容量、定格出力	システムの予想出力容量。容量あるいは出力は計画時間、効率及び稼働率などから計算される。nominal capacity とも
reaction time	反応時間	命令を受けてから任務を始めるまでに必要な時間あるいは行動を始めてから応答があるまでの時間
reactive maintenance	事後保全	日本ではbreakdown maintenanceの方が多く用いられるようだ。
readout	表示あるいは表示装置	プロセスの変数を計器あるいはコンピュータが表示あるいは印刷したもの、またその装置
recipes	レシピ	技術上の指示、教示をいう。作業指示、機器の取扱説明、運転要領およびスケジュール指示などが含まれる
reliability appraisal	信頼性評価	寿命試験、耐環境性、故障報告および故障解析および信頼性モデルなどを評価する。appraisalとevaluationの違いは、前者が目標に対して具体的に評価する、後者の評価は抽象的である、あるいは両者とも同じ意味で使われるなどの説明がある。employee appraisal, performance appraisalなどの用語が使われている。

reliability growth	信頼性成長	製品あるいはシステムの信頼性指数の向上をいう。試作品などは当初の目標を満足しない場合がある、そのため製品設計およびプロセスを変更することで信頼性を向上させる。このための解析をreliability growth analysisという。
reliability indicator	信頼性指標	機器の場合はMTBFやOEE(overall equipment effectiveness)が該当する。European Federation of National Maintenance SocietiesおよびSociety for Maintenance & Reliability Professionalsが協会としての指標を定めていると
reliability objective	信頼性目標	reliability goalと同じ意味で使われることがあるが、中間目標というような場合にも使われる。
reliability parameter	信頼性要因変数	設備の場合、故障に影響する要因変数を意味する。例えば設計不良、設置された環境、部品の性能不足などがある。あるいは信頼性の指数のMTBF,故障回数などを意味する。
reliability threshold	信頼性限界	信頼性の限界値で、この値以下になった時には見直し活動が求められる。
reparability	修復性	故障あるいは損傷した状態を正常な状態にもどすこと、あるいは修復容易性をいう
repairable item	修復可能部品	repairable componentともいう。高価で非常に重要な部品で故障が少ない予備品をいう。あるいは単に故障した機能を修復するための部品をいう。
repeatability	繰り返し精度	計器精度の尺度、一人の人が同じ条件で同じ物を測定したときに同じ結果を示す測定能力
replacement unit	交換ユニット	調整や較正をすることなく、機器システムの中で取り外し、組み込まれるユニット装置
reprocessing losses	再処理損失	規格外などで除去された材料や製品を再利用できるように加工するために発生する損失
reproducibility	再現性	1. 研究や実験の結果が再現するかどうかの能力 2.測定システムの変動性、測定者の作業の仕方の差によって起き
restoration	修復	機器を元の、適切なあるいは理想的な状態に戻すこと
resultant cost	結果費用	必要な品質や信頼性の水準に到達できないために、不本意ながら発生した費用。会社内部では修理、廃棄品あるいは再処理などで発生した費用、社外では出荷した製品の不具合、現場サービス不良による顧客の信用を失うことなど。
safety instrumented systems	安全計装システム	プロセス制御システムの一つ。プラントの稼働状態を示す変数やパラメータが正常範囲であることを監視し、そして異常状態が起きた時には警報を鳴らし、あるいは正常な状態に戻す、またはプラントを停止し安全を確保するシステム
safety PLC	安全PLC	一つのコントローラでプロセス制御と安全制御を行うPLC
scale error	目盛り誤差	変数の実際値と目盛り値の差
schedule compliance	スケジュール遵守	計画保全作業に対する対応能力、実際作業時間を計画作業時間で割った値で示す、あるいはグラフや表で計画と実際作業を対比して示す
scheduled preventive maintenance tasks	計画予防保全作業	予防保全作業として作業指示がでた作業
serviceability	保守性	1. 機器運転中の必要な注油や清掃などのサービス作業の容易さや効率の良さの設計上の特性 2. 決められた時間に決められた作業の実施を測る指標
servicing	日常保守作業	運転中の機器を保つために必要な作業で注油や清掃作業など、予防保全や修復作業は含まれない
shaft looseness	軸のがた	軸と軸受け間のゆるみなど
shaft voltage	軸電圧	電動機あるいは発電機において漏電、誘導あるいは電動機巻線の静電結合によって起きる電圧。軸電圧によって軸受けの劣化が起きる。ベルト駆動による静電気の発生でも起
shaving sample	削りサンプル	金属分析用に削りとったサンプル
shop drawings	製作図書	請負業者、孫請け業者、メーカー、ディストリビュータなどが装置の設置あるいは製作の詳細を示した図面、表、データおよび小冊子などをいう
short service employee	短期従業員	

signal person	合図者	クレーンに合図を送る人、作業の重要性から訓練が要求されている
silo management	サイロ マネージメント	会社目標に対して多くの組織が一体となつて作業する管理体制、組織が縦に積み重なって作業し効果を上げる管理体制
single point failure	単源故障	一つの機器の故障でシステム全体が故障すること、これには予備機器や別系列など冗長システムはない
sneak label	誤ラベル	スイッチの誤表示
soft foot	緩んだ台座	機器の台座が緩んでいる状態を表す
spare parts inventory control	予備品在庫管理	
speed of response	応答速度	計器がプロセス変数の変化に応答するのに必要な時間
spill tank	廃液タンク	化学貯槽タンクから排出された化学薬品を集めて保管するタンク、多くはタンクファームから離れた場所に、それぞれの化学品に対応して設置される
standard production rate	基準生産速度	プロセス工業では設計生産速度
standby redundancy	待機冗長	負荷を分担しないで、稼働中に要素が故障した時のみ稼働を始める冗長システム
standing work order	定常作業指示	日常保全作業のように作業員、材料および費用などが予め決まっている作業指示で、管理者の仕事を簡素化できる
step stress test	段階的強度試験	ステップ ストレス試験という訳もある。段階的に荷重を繰り返しかけて行う試験、製品の故障モードを同定するのに使われる、あるいは製品をある期間、種々の環境(ストレス)に置いて寿命を試験する
stockless purchasing	無在庫購買	1. 供給元が倉庫を保有していて、注文に応じて商品を供給する方式で、注文元は倉庫を持たない、あるいは保全部門などが直接、供給先に必要な部品を注文し、購買部門が倉庫をもたない方式
storage life	保管寿命	製品あるいは部品がある特定の条件下で、使用あるいは性能の仕様範囲内で保管できる期間、shelf lifeともいう。shelf lifeの意味の1つは部品などが劣化することなく保管できる期間とある
stress to failure	ストレス破壊検査	一つあるいはそれ以上のストレス要素、例えば温度、電圧を増やして試験片が全部破棄するまで行う破壊検査
success indicator	成功指標	個人、チームあるいは組織が計画目標に達成しているか判断するための指標で傾向をみる、日常保全費、スケジュール達成度など
support equipment	支援機器	システムを良好な状態に保つために監視、維持あるいは試験するための機器で、例えば発電機、特殊車両、試験機器
supply delay time	補給待ち時間	必要な交換部品が得られるまでの待ち時間
support equipment	支援機器	ある環境下のシステムを有用な状態に保つための機器。運転、試験あるいは保全に使われる補助機器で、広義では発電装置なども含まれる。
system balancing	システム バランス	空調機器において、設置の最終段階でシステムに必要な機能、温度、湿度、流速あるいは清浄度およびダンパーや回転速度などを調節すること
tape scale	巻尺	
temporary maintenance	当座保全	一時的に機器を止めて修理する作業をいう、定期保全までの間に合わせ修理
theoretical capacity	理論最大能力	保全や調節などをしなくても出せる最大能力
threats	脅威	生産に障害となる物あるいは状態を云う、機器の信頼性への脅威を同定することが予防保全などに必要である
total employee involvement	従業員全員参加	従来管理職が行っていた意思決定や作業に従業員を参加させるプログラム
total quality management tools	TQM(TQC)七つ道具	日本のTQCあるいはTQMで採用されている管理用の手法
trap	トラップ	相分離のための装置や物、ガス相から液相を分離、あるいは蒸気から水を分離するなどに使われる
turnaround	定期整備	定修ともいう。機器、生産ライン、プロセス装置を計画的に停止し、触媒の交換、塔槽類の清掃、機器の修理あるいはこの期間を利用して改装などを行う
undetected failure	潜在故障	FMEAの解析によって確認される故障

unit	ユニット	部品の組み合わせたもの、機器、システムあるいはプラントの集合体
uptime	使用可能時間	機器が機能できる時間
vapor barrier	蒸気隔壁	凝縮を防ぐ低浸透率材料の層
variance analysis	変動解析	計画と実際を比較して解析する方法
vendor stocking program	販売業者の在庫プログラム	製造メーカーあるいは代理店が顧客のために特別に在庫して、定期的に供給したり必要に応じて納入するプログラム
waste lines	廃水配管	プロセスなどから排出される廃水を中央処理施設に移送する配管。
wearout	へたり	故障率の増加あるいは故障の可能性が高まるプロセス
work groups	作業グループ	特定の作業のために組織された作業員のグループ